

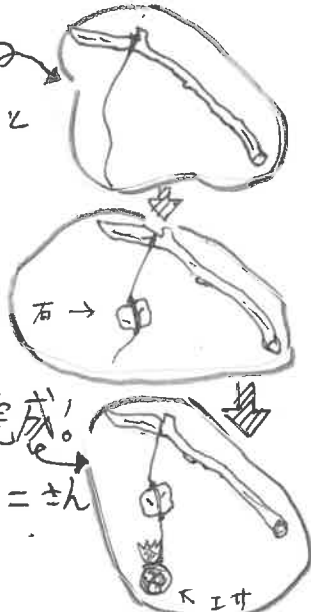


園長だより

NO.28 15.11.27(Thu)

先週号では子ども達の流行っている遊びの中で、鉄棒を話題にさせて頂きました。今回はカニ釣りです。志都呂幼稚園の園庭の池でカニが釣れるんですが、それが今や年齢をとわず、年少から年長の子ども達の間で、大流行しているんです。まず竿作りですが、園庭から竿本体にする木切れ、そしておもりの役目の石を拾って来ます。

- ① 木切れに紐を縛りつけ、下の方に石を縛ります。
ここでポイントは、直径3cm前後のツルツルした石だと縛り辛くすぐ外れてしまう為、比較的ゴツゴツした物が適しているんです
- ② そして網素材の物に、鯉の餌を3、4粒入れて小さな袋状にし、それを一番下方に縛り付けて完成！
この手作り竿に、池の南側の淵の岩間に棲むカニ達がムクムクと出て来てくれるんです。



どの種類は平均体長15cm程のカニから10cm「ズガニ」ではないかと、位の子どもちゃんまで、恐らく今、確認出来ているのは、5、6匹でしょうか。居るんですよ。

淵に沿ってそ〜と糸を垂らして数分じ〜と待ちます。子ども達も「大きな声を出すと、カニさんびっくりしちゃうよ〜」と

子ども達なりに「静かに」を意識してワクワク且つ真剣な表情は、愛らしい外ありません。私自身、釣りには別段興味がなく、よくジッと待たせられるな〜なんて篤る者的意見を持っていました。肩を寄せ合って、じっくり楽しそうに待つ子ども達を見て、釣りのおもしろさで、釣れた瞬間は勿論ですが、こんな触れ合いの時も、楽しさのひとつなんだな〜と感じます。そして、「あ、動いたよ」「今、餌にカニさんがくっついて竿が重い！」と目を真ん丸くしてたり、ハサミで掴む様子を、手だけの研ぎ澄まされた感覚で感じるんですね。「すぐ(カニが餌にくっついて)サ〜って挙げちゃだめだよ〜」とか言いながら、そのタイミングも友達同士で図り釣り上げています。こんな感じなので釣れた時は年齢関係なく、釣り上げる事が出来るのも醍醐味のひとつで、案外も祖さんの方が、釣れる率が高いんですよ。

園庭にある自然を素材にし、遊びを通して友達と心を寄せ合い、喜びを共有出来るこのカニ釣り…。志都呂幼稚園ならではあるではないかな〜と、この環境と、それを存分に謳歌してくれる子ども達に感謝の日々です。

